

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

自律型AIでROIを向上させる

TAM規模

1,234億米ドル

② 中長期の経営戦略

1. マーケティング全領域対応

顧客接点の全領域を支援するソリューション提供。事業戦略立案から実行までの継続サポート

3. ファーストパーティーデータ活用

顧客企業のウェブサイト・アプリ・CRMデータから自動統合し、高精度リアルタイム予測を実現

2. AaaS形式への転換

Agentic AI as a Serviceの提供。分断されたデータを統合し、オムニチャンネルマーケティング実現

4. AIツールからAIエージェントへ進化

自動化やインサイト生成から、目標設定・戦略計画・実行・検証を自律的に行うモデルへ進化

③ 対処すべき課題

① AI活用の課題克服

- ・ AI導入済み企業でも有効活用は限定的。技術・知見を有する人材不足が課題
- ・ 内製化は困難。外部ベンダーのAIプラットフォーム活用が拡大見込み

② 既存ソリューションの限界

- ・ ユーザー予測・獲得では手作業A/Bテストが必要。自動最適化が課題
- ・ ルールベースの維持・関係構築ではビジネスチャンス喪失リスク
- ・ インセンティブ施与が一律または経験則。データ駆動的最適化が課題

③ データ活用における技術的課題

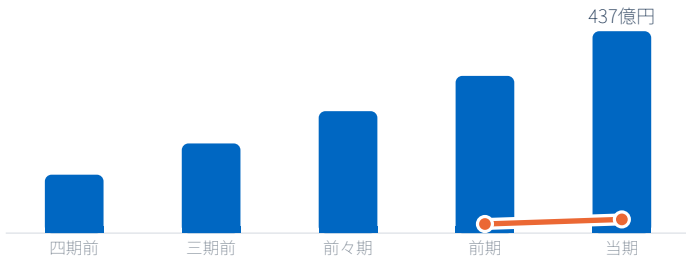
- ・ ファーストパーティーデータが断片的でサイロ化。統合が技術的に困難
- ・ サードパーティーデータへの依拠またはデータの手作業整理に陥りやすい

面接で使えるポイント

- ・ マーケティング分野でAIパイオニア。KDDカップ2008～2020年で7回優勝の実績を持つ
- ・ 自律型AIにより24時間365日稼働するマーケティングパートナーを実現。ROI向上に直結
- ・ 深層表現学習・自動化機械学習・オンラインリアルタイム学習など4つの技術的強み保有

証券コード 4180

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
437億円営業利益率
6.8%財務健康度
56点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 61.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: Appier Group(株)【4180】：決算情報

